

2021年12月7日



【美容センサス 2021 年下期】《美容医療編》

ここ1年の美容医療の施術費用が増加した女性は40%以上、男性は60%以上に
女性の利用理由の1位は「自己満足」、男性の1位は「モテたい」

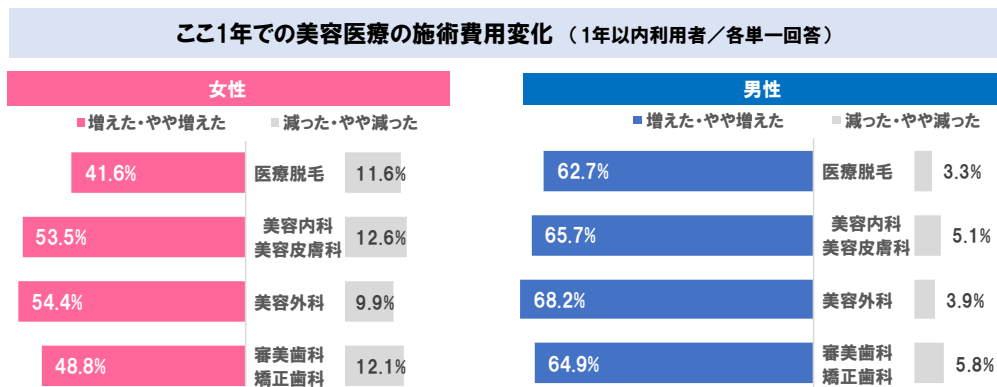
株式会社リクルート(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:北村 吉弘)の美容に関する調査研究機関『ホットペッパービューティーアカデミー』(<https://hba.beauty.hotpepper.jp/>)は、全国の人口20万人以上の都市居住者のうち、15~69歳の男女1万3,200人を対象に、過去1年間における美容医療に対する意識・利用実態調査を実施しましたので、その結果をご報告いたします。

調査背景

『ホットペッパービューティーアカデミー』では美容業界の成長に少しでも貢献できればと、学びの機会提供と調査・研究の情報発信を行っております。「美容医療」に関しては2018年より毎年消費者行動の実態を明らかにするために調査を実施しています。

調査結果トピックス

- ここ1年の美容医療4分野の施術費用は、増加した人が女性40%以上、男性60%以上と高い伸び。



- 美容医療に対する“抵抗感・違和感なし”の割合が、男女ともに前年比増。特に女性の「美容外科」に対する“抵抗感・違和感なし”の上昇幅が大きい。
- 美容医療の利用理由は、女性の1位は「自己満足」、男性の1位は「モテたい」。

『ホットペッパービューティーアカデミー』 研究員からの解説



巣ごもり生活が続くコロナ禍において、美容医療に対する投資が増加していることが分かりました。在宅ワークの増加や、外出時のマスク着用が日常化することで、施術後の跡やダウンタイム(回復期間)を「以前より気にしなくなった」という声も聞きます。男女の抵抗感も下がっており、美容医療を「美容の手段のひとつ」として捉える人が増えていることがうかがえます。美容医療の利用理由が女性は「自己満足」で自分のため、男性は「モテたい」と他者を気にする結果となっています。

(『ホットペッパービューティーアカデミー』研究員 田中 公子)

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

2021年12月7日

美容センサス 2021年下期 ≪美容医療編≫ 調査概要と回答者プロフィール

調査目的

女性・男性それぞれの過去1年間における美容医療に対する意識・利用実態を捉える

調査方法

インターネットによるアンケート調査

- 株式会社マーケティングアプリケーションズの「MApps Panel」を利用

調査対象

全国、人口20万人以上の都市に居住する15～69歳の男女

- 女性・男性 各6,600サンプル

※人口20万人以上の都市の人口比率によってエリアごとの割付数を決定

※男女それぞれ、年齢5歳刻みで均等割付（エリアと年代による割付数詳細は下記数表を参照）

女性											男性														
	サ ン プ ル 合 計	北 海 道 ・ 東 北	首 都 圏	23 区 外	東 京 23 区	う ち 23 区	中 部 ・ 甲 信 越	（ 静 岡 含 む ）	東 海	関 西	中 国 ・ 四 国	九 州		サ ン プ ル 合 計	北 海 道 ・ 東 北	首 都 圏	23 区 外	東 京 23 区	う ち 23 区	中 部 ・ 甲 信 越	（ 静 岡 含 む ）	東 海	関 西	中 国 ・ 四 国	九 州
全体	6,600	572	2,728	1,804	924	275	671	1,254	495	605			6,600	572	2,728	1,804	924	275	671	1,254	495	605			
15～19歳	600	52	248	164	84	25	61	114	45	55			600	52	248	164	84	25	61	114	45	55			
20代	1,200	104	496	328	168	50	122	228	90	110			1,200	104	496	328	168	50	122	228	90	110			
30代	1,200	104	496	328	168	50	122	228	90	110			1,200	104	496	328	168	50	122	228	90	110			
40代	1,200	104	496	328	168	50	122	228	90	110			1,200	104	496	328	168	50	122	228	90	110			
50代	1,200	104	496	328	168	50	122	228	90	110			1,200	104	496	328	168	50	122	228	90	110			
60代	1,200	104	496	328	168	50	122	228	90	110			1,200	104	496	328	168	50	122	228	90	110			

調査実施時期

2021年8月13日（金）～8月20日（金）

※時系列データ：比較対象の調査の実施時期と調査対象は以下の通り

調査年	調査実施時期	調査対象	
		女性	男性
2018年	2018年 8月15日（水）～ 8月22日（水）	男女 15～69歳 それぞれ 6,600サンプル	
2019年	2019年 8月15日（木）～ 8月23日（金）		
2020年	2020年 8月14日（金）～ 8月21日（金）		
2021年	2021年 8月13日（金）～ 8月20日（金）		

調査実施機関

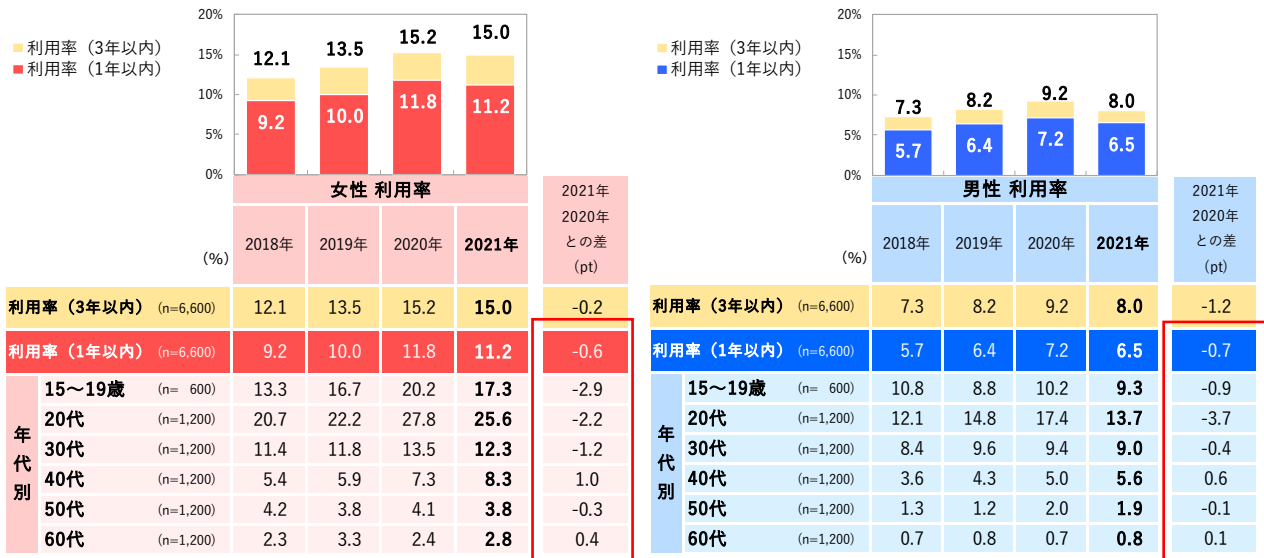
株式会社アンド・ディ

2021年12月7日

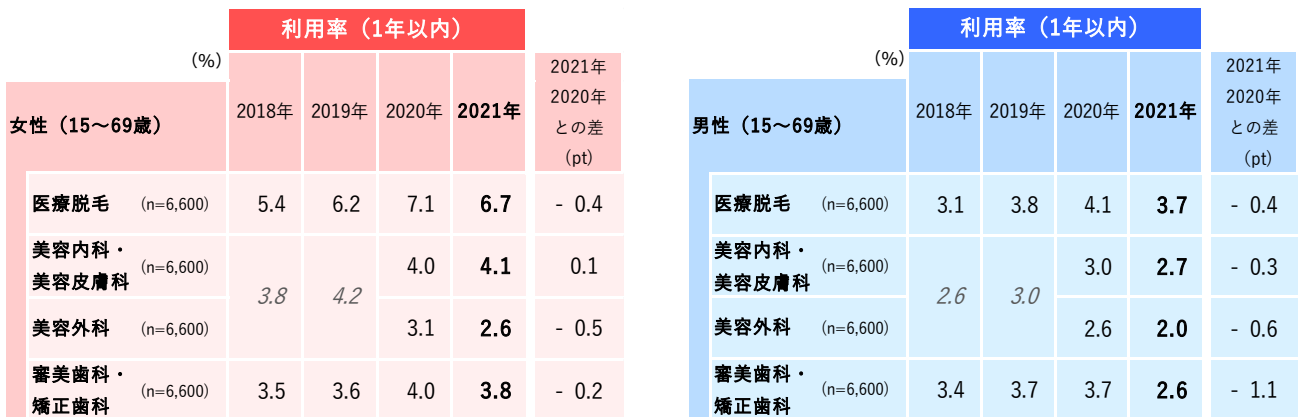
1. 利用率

美容医療利用率（過去1年以内に1回以上の利用割合）は、女性は11.2%（前年比0.6ポイント減）、男性は6.5%（前年比0.7ポイント減）。年代別では、1年以内の利用率で前年比減少幅が大きいののは男女とも若年層。40代以降は増加もしくはほぼ横ばい。

■美容医療の利用状況：美容医療全体（単一回答）



■美容医療の利用状況：各美容医療（単一回答）



※2019年までは「美容内科・美容皮膚科」「美容外科」は統合されていたため参考値

2021年12月7日

2. 施術費用

女性は「増えた・計」が、美容外科で最も高く 54.4%。医療脱毛、美容内科・美容皮膚科、審美歯科・矯正歯科も4割～5割が「増えた・計」で「減った・計」を大幅に上回っている。男性はどの施術も「増えた・計」が6割を超えている。

■ここ1年での美容医療の施術費用変化：各美容医療（1年以内利用者／各単一回答）

(%)

		女性（15～69歳）／2021年					増えた・計
		増えた・計		変わらない	減った・計		
		増えた	やや増えた		やや減った	減った	
医療脱毛	(n= 440)	20.2	21.4	46.8	6.1	5.5	41.6
美容内科・美容皮膚科	(n= 269)	29.4	24.2	33.8	8.2	4.5	53.5
美容外科	(n= 171)	35.1	19.3	35.7	5.3	4.7	54.4
審美歯科・矯正歯科	(n= 248)	30.2	18.5	39.1	8.1	4.0	48.8

(%)

		男性（15～69歳）／2021年					増えた・計
		増えた・計		変わらない	減った・計		
		増えた	やや増えた		やや減った	減った	
医療脱毛	(n= 241)	34.0	28.6	34.0	2.1	1.2	62.7
美容内科・美容皮膚科	(n= 175)	31.4	34.3	29.1	4.0	1.1	65.7
美容外科	(n= 129)	34.9	33.3	27.9	3.1	0.8	68.2
審美歯科・矯正歯科	(n= 171)	33.3	31.6	29.2	2.9	2.9	64.9

2021年12月7日

3. 医療機関・クリニック（美容内科・美容皮膚科・美容外科、審美歯科・矯正歯科）での施術の内容

「美容内科・美容皮膚科・美容外科」の女性の1位は「美肌・シミ・肝斑・くすみの治療」、男性の1位は「ニキビ・ニキビ跡・肌荒れの治療」。女性では、30代以上の利用経験者の半数以上が「美肌・シミ・肝斑・くすみの治療」を経験している。男女とも15～19歳、20代の1位は「ニキビ・ニキビ跡・肌荒れの治療」。

■医療機関・クリニックでの施術内容【3年以内】：美容内科・美容皮膚科・美容外科

（3年以内利用者／複数回答）

女性／2021年			年代別					
順位	施術内容（トップ10） ＜美容内科・美容皮膚科・美容外科＞	15～69歳	15～19歳	20代	30代	40代	50代	60代
		(n= 494)	(n= 56)	(n=181)	(n=104)	(n= 80)	(n= 44)	(n= 29)
1位	美肌・シミ・肝斑・くすみの治療	44.1	7.1	30.4	55.8	65.0	72.7	58.6
2位	シワ・たるみ・毛穴の治療	27.1	8.9	20.4	34.6	36.3	38.6	34.5
3位	ニキビ・ニキビ跡・肌荒れの治療	26.7	33.9	38.7	27.9	12.5	4.5	6.9
4位	ホクロ除去・あざやイボの治療・傷跡治療	22.5	21.4	22.7	22.1	22.5	22.7	24.1
5位	二重の整形※	19.6	28.6	26.0	21.2	7.5	11.4	3.4
6位	美容点滴	8.7	5.4	7.2	13.5	10.0	9.1	3.4
7位	痩身※	8.5	7.1	12.2	7.7	5.0	6.8	3.4
8位	ピアスの穴あけ	8.1	17.9	11.0	3.8	5.0	0.0	6.9
9位	顔痩せ	7.9	8.9	11.0	10.6	1.3	4.5	0.0
10位	目の下のクマ・たるみ取り	6.1	1.8	4.4	4.8	10.0	9.1	13.8

※各年代において 1位 2～3位 4～5位

男性／2021年			年代別					
順位	施術内容（トップ10） ＜美容内科・美容皮膚科・美容外科＞	15～69歳	15～19歳	20代	30代	40代	50代	60代
		(n= 303)	(n= 38)	(n=114)	(n= 79)	(n= 49)	(n= 16)	(n= 7)
1位	ニキビ・ニキビ跡・肌荒れの治療	44.2	52.6	41.2	45.6	44.9	37.5	42.9
2位	シワ・たるみ・毛穴の治療	36.0	21.1	28.1	48.1	46.9	25.0	57.1
3位	美肌・シミ・肝斑・くすみの治療	28.7	15.8	20.2	38.0	34.7	43.8	57.1
4位	二重の整形※	23.8	15.8	20.2	31.6	22.4	25.0	42.9
5位	痩身※	18.8	13.2	13.2	25.3	24.5	25.0	14.3
6位	ホクロ除去・あざやイボの治療・傷跡治療	18.5	7.9	15.8	31.6	12.2	12.5	28.6
7位	目の下のクマ・たるみ取り	12.5	2.6	11.4	16.5	14.3	18.8	14.3
8位	薄毛治療・AGA・発毛・植毛・自毛植毛	11.9	—	8.8	19.0	18.4	12.5	—
9位	二重以外の目元整形	10.9	7.9	9.6	13.9	6.1	25.0	14.3
10位	顔痩せ	10.2	5.3	6.1	13.9	18.4	6.3	14.3

※各年代において 1位 2～3位 4～5位

※二重の整形：「二重の整形（切開）」「二重の整形（埋没法）」の合算 ※痩身：「痩身（身体）」「メディカルダイエット」の合算
※n=30以下の年代は、スコアをグレー斜体表示にしています。

2021年12月7日

■医療機関・クリニックでの施術内容【3年以内】：審美歯科・矯正歯科（3年以内利用者／複数回答）

女性／2021年 (%)			男性／2021年 (%)		
順位	施術内容（トップ4） ＜審美歯科・矯正歯科＞	15～69歳 (n= 340)	順位	施術内容（トップ4） ＜審美歯科・矯正歯科＞	15～69歳 (n= 234)
1位	歯列矯正	57.1	1位	歯のホワイトニング	57.3
2位	歯のホワイトニング	40.9	2位	歯列矯正	39.3
3位	歯のクリーニング	27.4	3位	歯の詰め物・セラミックなど	34.2
4位	歯の詰め物・セラミックなど	26.8	4位	歯のクリーニング	31.6

4. 施術メニューの経験順（女性）

女性の最初の美容医療の施術は「医療脱毛・レーザー脱毛」が最多で、美容医療のエントリーメニューとして多くの女性に利用されていることがうかがえる。「医療脱毛・レーザー脱毛」に続き、「歯のクリーニング」、「二重の整形」をエントリーメニューとして利用する女性も多い。

■受けた施術メニューの経験順（3年以内に3つ以上の施術をした人／各単一回答）※女性のみ

		女性（15～69歳）／2021年 (%)		
		施術の順番		
		1番目	2番目	3番目
脱毛	医療脱毛・レーザー脱毛 (n= 175)	61.1	18.3	20.6
	美容内科・美容皮膚科・美容外科			
	美肌・シミ・肝斑・くすみの治療 (n= 115)	33.9	48.7	17.4
	シワ・たるみ・毛穴の治療 (n= 73)	26.0	43.8	30.1
	ニキビ・ニキビ跡・肌荒れの治療 (n= 64)	17.2	45.3	37.5
	ホクロ除去・あざやイボの治療・傷跡治療 (n= 45)	28.9	26.7	44.4
	二重の整形※ (n= 41)	39.0	36.6	24.4
審美歯科・矯正歯科	歯のホワイトニング (n= 68)	8.8	35.3	55.9
	歯列矯正 (n= 50)	34.0	28.0	38.0
	歯のクリーニング (n= 38)	47.4	28.9	23.7
	歯の詰め物・セラミックなど (n= 37)	18.9	29.7	51.4

※各順番において **1位** **2～3位**

※n=30以上の施術を掲載

※二重の整形：「二重の整形（切開）」「二重の整形（埋没法）」の合算

2021年12月7日

5. 抵抗感

女性の“抵抗感・違和感なし”と答えた割合は、前年から2.6ポイント増加の43.4%に。施術別に最も増加したのは、「美容外科」（前年比4.3ポイント増、32.0%）。

男性の“抵抗感・違和感なし”と答えた割合は、前年から2.5ポイント増加の38.1%に。施術別に最も増加したのは、「医療脱毛」（前年比3.3ポイント増、40.2%）。

■自分自身の美容医療に対する抵抗感（各単一回答）

(%)

	女性（15~69歳）				抵抗感・違和感なし・計		
	抵抗感・違和感なし・計		抵抗感・違和感がまあある	抵抗感・違和感がかかなりある	2020年	2021年	2021年 2020年 との差(pt)
	抵抗感・違和感が全くない	抵抗感・違和感があまりない					
美容医療全体※ (n=6,600)	18.3	25.0	24.9	31.8	40.8	43.4	2.6
医療脱毛 (n=6,600)	23.4	26.7	21.5	28.4	48.1	50.1	2.0
美容内科・美容皮膚科 (n=6,600)	17.0	25.6	25.7	31.7	39.2	42.6	3.4
美容外科 (n=6,600)	12.9	19.1	28.2	39.7	27.7	32.0	4.3
審美歯科・矯正歯科 (n=6,600)	20.0	28.7	24.1	27.2	48.3	48.7	0.4

(%)

	男性（15~69歳）				抵抗感・違和感なし・計		
	抵抗感・違和感なし・計		抵抗感・違和感がまあある	抵抗感・違和感がかかなりある	2020年	2021年	2021年 2020年 との差(pt)
	抵抗感・違和感が全くない	抵抗感・違和感があまりない					
美容医療全体※ (n=6,600)	15.2	23.0	25.2	36.7	35.6	38.1	2.5
医療脱毛 (n=6,600)	16.8	23.4	24.6	35.2	36.9	40.2	3.3
美容内科・美容皮膚科 (n=6,600)	14.4	22.0	25.7	37.8	33.3	36.4	3.1
美容外科 (n=6,600)	13.2	19.0	26.4	41.5	29.5	32.1	2.6
審美歯科・矯正歯科 (n=6,600)	16.3	27.5	23.9	32.3	42.9	43.8	0.9

※美容医療全体：「医療脱毛」「美容内科・美容皮膚科」「美容外科」「審美歯科・矯正歯科」それぞれの抵抗感を聴取し、その“のべ件数”から平均スコアを算出している

2021年12月7日

6. 美容医療の利用理由（トップ10）

女性の1位は「自己満足」（28.1%、前年比1.9ポイント増）、男性の1位は「モテたい」（18.4%、前年比4.8ポイント増）。トップ10のうち、前年から最も増加幅が大きかったのは、女性は「ネットでの情報や口コミを見て」（前年比3.7ポイント増）、男性は「モテたい」「幸せを感じたい」（それぞれ前年比4.8ポイント増）。

■美容医療を受けた理由（美容医療経験者／複数回答）

(%)

女性 (15~69歳)	美容医療を受けた理由 (トップ10)	2021年		2020年		2021年 2020年 との差(pt)
		順位	利用経験者のべ (n=3304)	順位	利用経験者のべ (n=3079)	
			利用経験者 (n=1713)		利用経験者 (n=1693)	
	自己満足	1位	28.1	2位	26.2	1.9
	コンプレックスの解消	2位	27.9	1位	26.6	1.3
	手軽にできるようになったから	3位	15.8	4位	12.8	3.0
	(シミ・ほくろ・あざなど) ずっと気になっていたから	4位	14.9	3位	13.2	1.7
	老化の予防・アンチエイジングしたい	5位	13.5	7位	10.6	2.9
	自分へのご褒美として	6位	13.4	5位	11.2	2.2
	時短美容のため	7位	12.9	5位	11.2	1.7
	価格も安くなってきたから	8位	12.0	9位	10.1	1.9
	周りでやっている人を見て	9位	11.6	8位	10.5	1.1
	ネットでの情報や口コミを見て	10位	10.9	12位	7.2	3.7

(%)

男性 (15~69歳)	美容医療を受けた理由 (トップ10)	2021年		2020年		2021年 2020年 との差(pt)
		順位	利用経験者のべ (n=2118)	順位	利用経験者のべ (n=2124)	
			利用経験者 (n=902)		利用経験者 (n=923)	
	モテたい	1位	18.4	3位	13.6	4.8
	コンプレックスの解消	2位	17.7	2位	16.4	1.3
	自己満足	3位	16.6	1位	16.8	- 0.2
	幸せを感じたい	4位	14.4	10位	9.6	4.8
	手軽にできるようになったから	4位	14.4	7位	11.0	3.4
	老化の予防・アンチエイジングしたい	6位	14.3	7位	11.0	3.3
	(シミ・ほくろ・あざなど) ずっと気になっていたから	7位	13.5	6位	12.1	1.4
	自分へのご褒美として	8位	13.2	10位	9.6	3.6
	ネットでの情報や口コミを見て	9位	13.1	5位	12.3	0.8
	周囲から勧められて	10位	13.0	9位	10.4	2.6

※利用経験者のべ：美容医療（「医療脱毛」「美容内科・美容皮膚科」「美容外科」「審美歯科・矯正歯科」）の施術のうち、1つでも実施経験がある人のべ集計

2021年12月7日

7. 最も参考にする情報源

女性の1位は「友人・知人からの情報」、男性の1位は「病院・クリニックのホームページ」。男性2位の「テレビ・ラジオ」は、女性では7位で、男女による情報源に差が出ている。

■美容医療の病院・クリニック選びで最も参考にする情報源（美容医療経験者または意向者／単一回答）

女性／2021年		(%)	年代別						(%)
順位	最も参考にする情報源（トップ10）	15~69歳 (n=3,441)	15~19歳 (n= 466)	20代 (n= 869)	30代 (n= 731)	40代 (n= 609)	50代 (n= 434)	60代 (n= 332)	
1位	友人・知人からの情報	15.4	13.7	12.0	15.7	16.1	18.9	20.5	
2位	病院・クリニックのホームページ	14.6	11.4	11.2	14.9	18.2	17.1	17.2	
3位	ブログ・口コミ	10.8	13.7	10.2	12.6	13.0	8.3	3.6	
4位	美容医療に関する記事等の情報サイト	8.0	7.9	6.7	6.2	9.9	11.1	7.8	
5位	複数の病院・クリニックが検索・比較できるサイト	7.9	6.2	6.9	7.3	8.9	12.0	7.5	
6位	Instagram	6.8	11.4	13.1	6.8	2.0	1.4	0.0	
7位	テレビ・ラジオ（CM含む）	6.2	4.7	3.8	6.4	6.2	8.8	10.8	
8位	雑誌・新聞	4.5	3.4	5.4	4.4	3.0	3.5	8.4	
9位	Twitter	3.0	6.2	6.3	2.2	0.5	0.2	0.0	
10位	インターネット広告（バナーなど）	2.8	2.8	2.6	2.5	3.3	1.8	3.9	

※各年代において **1位** **2~3位** **4~5位**

男性／2021年		(%)	年代別						(%)
順位	最も参考にする情報源（トップ10）	15~69歳 (n=2,276)	15~19歳 (n= 322)	20代 (n= 616)	30代 (n= 500)	40代 (n= 404)	50代 (n= 272)	60代 (n= 162)	
1位	病院・クリニックのホームページ	12.1	10.9	9.3	13.8	14.9	12.9	12.3	
2位	テレビ・ラジオ（CM含む）	11.3	10.2	9.1	11.0	12.1	16.5	12.3	
3位	雑誌・新聞	10.3	7.8	14.0	9.2	9.4	7.4	12.3	
4位	友人・知人からの情報	8.3	8.1	7.5	7.8	8.2	9.2	12.3	
5位	美容医療に関する記事等の情報サイト	7.5	7.8	7.1	6.6	6.9	10.3	8.0	
6位	複数の病院・クリニックが検索・比較できるサイト	7.4	3.7	7.0	7.4	7.4	9.9	12.3	
7位	ブログ・口コミ	6.5	8.7	3.9	6.4	8.4	8.8	3.1	
8位	インターネット広告（バナーなど）	5.7	6.2	5.5	5.4	6.2	4.8	6.2	
9位	Twitter	2.8	3.7	3.6	3.8	2.0	0.4	0.6	
9位	電車・バス・タクシー内広告	2.8	2.5	3.1	3.4	3.7	1.5	0.6	

※各年代において **1位** **2~3位** **4~5位**

2021年12月7日

8. カウンセリング受診の比較検討時の重視ポイント

男女共通して、1位は「メニューの金額や総額が明確」、2位は「価格が適切」。3位以降は男女で異なる結果に。女性は、3位「自宅からの通いやすさ」、4位「SNS・口コミサイトなどでの評判」と利便性や評価を重視する項目が並ぶ。一方、男性は、3位「豊富な症例写真」、4位「効果が分かる症例写真」と、症例や効果の写真を重視していることが分かる。

■ カウンセリング受診の比較検討時の重視ポイント（美容医療のカウンセリング受診予約経験者／複数回答）
(%)

（15歳～69歳）女性	順位	カウンセリング受診の比較検討ポイント （トップ5）	2021年 （n=1,053）
	1位	メニューの金額や総額が明確	58.1
	2位	価格が適切	43.5
	3位	自宅からの通いやすさ	25.8
	4位	その病院・クリニックのSNS・口コミサイトなどでの評判	24.6
	5位	必要な回数・期間	23.4

(%)

（15歳～69歳）男性	順位	カウンセリング受診の比較検討ポイント （トップ5）	2021年 （n= 655）
	1位	メニューの金額や総額が明確	44.7
	2位	価格が適切	31.8
	3位	豊富な症例写真	25.0
	4位	効果が分かる症例写真	21.2
	5位	痛み・副作用（ダウンタイム等）・リスク	16.9

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万6,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2020年度の売上収益は2兆2,693億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここがない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/>

リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>